

國家的大試練 (五)

辯護士 門傳清吾

日本は君子の國、仁義の國である王道大使命を掲げて、世界に最高正義を布く國である、日本はあらゆる艱難、あらゆる犠牲に堪へつゝ東洋の盟主たり世界正義の權威とし、仁義を四海に布くべく使命に向つて邁進し奮闘しつゝある國である。日本は支那に對して決して區々たる敵心を抱くものでない、支那を愛護し支那を啓蒙し、支那を救済し、支那に仁義を布くを以て任務とし、支那を哲導救済するためには國家の最善の努力を注ぐ事は明治以來の幾多の事實に於ても明證せらるべく、今日に於ても日本國民は支那に對して共存共榮の實績を擧ぐるに誠意正心を有して居る、日本は常に太陽の光明を以て世界に臨むを本旨とす、日本の王道とは、即ち太陽の光明の如し。

大試練を経ると共に益々國體の精華を宣揚し日本の使命に向つて勇壯の歩を進めなければならぬ、大死一番と云ふ事は禪門修行の要諦とする所であつて、一たび生死崖頭に立つ試練なくしては人間の精神修養も其の本體に入ること難いと同様に、國家も國民も大死一番の大試練を経る事は國家國民に取つて眞に貴重なる天の恩宥と心得べきである蒙古來襲の如きも當年に於ては實に大試練であつた、此の試練を経たため日本國民が收め得たる實績は蓋し多大のものがあつたと、信ずる、豊太閣の征韓役の如きも日本に取つては實に貴い試練であつたであらう、明治六年の征韓論は遂に實行化するに至らなかつたが、此の一問題のため日本の精神界に及ぼしたる衝動は非常なものであつて、此の點に於て六年征韓論問題は日本に取つて重大なる試練を與へたものと解釋すべきである、明治二十七八年更に三十七八年役に至つては實に國を賭して進める大戦役であつて、是れによつて日本國の收め得たる試練と實功とは敢て言説を待たざる所である。

今回も全國々民を通じて愛國的熱情の旺盛なることは眞に壯烈を極むるものがある、國民の意氣の壯なる事蓋し過去の大事件に比し優さるゝるも劣るなき實狀を

示めて居る、過去四十年以來外交に於ては兎角屈辱の境に立ち國民の憤激を醸せる事幾多あつたが、今回は世界を相手とし日本の意氣を示せる點に於て國民自ら壯とすべき事多く、此の福進に乗じ益々日本の正義を確立し益々國家本位の信念を堅牢にし、益々日本独自の使命に向つて邁進するを要し此の點に於て特に國民教育の發達に努むる要がある、教育の根本に着眼する要がある。

(完)

大塚の 學生靴!!!

耐久新製品

編上靴 六・〇〇
半靴 五・〇〇

不安心なるキカイ靴より、安心得る弊店の靴を……

大塚支店製靴部
電話七七番

藤沼醫院
平町紺屋町
電話七〇五番

セメント 壁用材料
コールタール
ペンキ塗料
板ガラス

磐城セメント株式會社
代理店 西村屋藥舖
平町二丁目「電三」

御重入辨當

寄なべ はまなべ 鳥なべ
ちりなべ かきなべ

せび一度御試食下さい……

出前迅速 錦 水

田町末廣東隣り(電話四五四番)

磐城セメント會社特約店

久金屋商店

磐城平町五丁目 電話九番九九番

□良品廉賣に勝る商略なし
□確實敏捷は久の生命なり

外科 専門 X
科線

上田外科醫院

平町南町
電話二一九番

玉屋洋品店

平町田町通電話五六六番

■ 産名城磐 ■

らか鹽と節鯉

魚問屋

店理代平命生本日本大最優最
榮盛賀志
番一二三電 目丁四平

☑ 配達敏速 ☑

正確な時計

お客様本位の……

好適の眼鏡

玉屋洋品店

各候補得點票

Main table containing election results for various districts (町, 村) and candidates (有権者, 鈴木, 佐藤, 比佐, 氏家, 政友, 民政). Includes columns for candidate names, district names, and vote counts.

第三區開票結果

名三員定

- 一五、三四八 鈴木辰三郎(政)
- 一七、八七九 佐藤庄太郎(政)
- 一六、二五五 比佐昌平(民)
- 一一、〇七一 氏家清(民)

(本日午後四時迄)

「金一圓也」

選舉出頭料

不眞面目な無効票 佐野學も飛び出す

昨日の平投票所に於ける無効票は三十六票の多きに及んで居るが是等の大半は姓の下に點を付して名を記入し一種の符合と睨まれたものであるが其の外折角の清き一票の行使に當り随分人を喰つたものもある、一二を擧げると「金一圓也選舉出頭料」として右正に受領候也」それから「比佐昌平又かい」等それに「木村清治」の一票は兎も角として「佐野學」と記入した者二名、「麻生久」一票で年々斯うした不眞面目な投票のある事は遺憾に耐えぬと係員がコボシて居た

舊正月と選舉騒ぎ

其雜踏を一手に引受けた 平驛の大混雜

選舉騒ぎと舊正月の出入を一緒に引受けた平驛は十九日、廿一の三日間共その乗降客は通常の七八百人台が左の如く激増した

二降客	乗客
十九日	八五〇
廿一日	一、〇〇〇
廿二日	一、〇〇〇

尚是れ以外に定期券回数券

豊間受驗補助 石城郡豊間村漁業組合では本年度漁船機關手受驗講習會に出席する七名に對し五圓前後の補助を給する由

水道配水池 壁床完成 今度は高架水槽 着々進行

の所持者が千五百名近くあるので列車毎の雜沓は想像以上であつた

先高を見越し 持米を手離さず

神谷の販米無期延期

既報十八日行はれる筈であつた石城郡神谷村農會の共同販米は廿五日に延期されたと其頃迄に入札米の集る

第三區午後四時迄の開票結果に依れば 佐藤、比佐、鈴木の三氏當選確實と觀取さる。

奉安庫

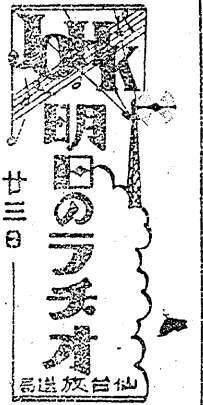
紀念展

學藝會も共に 第三校で 平第三小學校では來月五六

土木課長

石城初巡視

新任の本縣土木課長土肥憲次郎氏は本日午後一時平着列車にて來平三日間の豫定で濱通地方の初巡視を行ふ爲め伏見平町長小林平土木監督所長等が發起となり本日五時半より谷口樓に歡迎會を行ふと



今晚も明日の部 今晩も明日の部 風曇り一時晴

今晚の部

- 後六、〇〇 子供の時間 童話劇「クラブ、ルームの集ひ」B.K.コードモーター
- 後八、〇〇 ラヂオブレ「サーカス道走」劇團ニッポン
- 後八、〇〇 小唄 鈴木みよ
- 後八、三五 歌澤 歌澤歌菊壽 歌澤實清子
- 後八、五五 錦心流琵琶

明日の部

- 後九、三〇 奉天より「在滿日本婦人の生活」在滿日本婦人會長
- 後九、四〇 全國ニュース 氣象通報 番組豫告
- 前九、一〇 料理献立「チキン・グレンロー・ボンム」朝倉長吉
- 前九、三〇 家庭講座「空箱で作る雑糧」吉見誠
- 後九、〇五 吹奏樂 海軍

優良納稅組合

他郡より多し

既報石城郡下の優良納稅組合は三百六十組合で十七日縣から表彰されたが各市郡に比して遙に多きを誇りとしてゐるが漸年向上されつ

あり當局も大した意氣込みてゐる

木炭同業總會

郡木炭同業組合では來る廿七日午前十時より團体事務所にて總會を開き諸議案を附議する筈

日用品を共同購入し

組合員に安價提供

石城郡下各町村の信用組合及び購買組合にては一致して日用品を購買し生活費の緩和を圖つて居る折柄縣購買會でも今回各農家の日用品類の大半は組合組織のものに購入せしめる事を奨励しつゝある爲め今後は衣類足袋家具類に至る迄多數を購入是れを組合員に市價より一二割宛安價に配給せしめる様努むる由

平職業紹介所報告

- 求人部
 - △女中兼兒守 十八才迄 尋卒 仕着外四圓(四倉町某)
 - △農夫 四十以下 尋卒 月十圓位(川前村某)
 - △女中 廿才迄 尋卒 月六圓位(田町某病院)
 - △商店雜役 廿才前後 尋卒 月五圓(平町某商店)
- 求職部
 - △道匠小路二一當時大阪市西成區粉濱仲町ノ五山名龍澄氏二男隆雄
 - △新川町二二吉田増造氏次女シゲ
 - △鍛冶町二八當時本郷區駒込坂下町七五阿部林松氏五男富雄
- 回婚
 - △道匠小路當時大阪市西成區粉濱仲町ノ山名龍澄氏(三九)石城郡勿來町宇寺下一小野スエ(三〇)

平町人事

- 回出
 - △商店雜夫 廿二才 尋一 修給料面談(平町某)
 - △洗濯屋 廿一才 尋二 修給料面談(平町某)
 - △出前荷 十六才 高一在 學中 給料面談(好間村某)
 - △旋盤工 廿才 高卒 給料面談(赤井村某)
 - △風呂番 卅二才 尋五修 給料面談(上遠野村某)

々樂隊指揮樂長福喜多鏡 後二、〇〇 家庭大學講座 「心得置くべき醫學の智識」(八)醫學博士平松鶴吉

後六、〇〇 子供の時間 獨唱と齊唱 お手玉子供會 特別講座「上海の金融爲替」三井銀行外國爲替課長土屋計左右

後八、〇〇 水戸俚謠 美代壽外 後八、三〇 三曲「千鳥、ながらの秋」福久雪子外

後九、〇〇 常磐津「炭橋」常磐津三登勢太夫外 後九、三〇 奉天より「支那でニュースを集める苦心」日本電報通信社特派員

小説



(百五十八)

【載轉禁】

渡邊默禪 作
布施平八郎 畫

ほととぎす (2)

「いや、その風だが塀が高くなる」と吹止りになつて家へは入れないもんださうだまた入られた義理でもないさ、女將濟まない堪忍してくれ」

「あら何がです」

「堪定さ、あのまゝにして置く譯ぢやあなかつたけれども、いろ／＼事情があつてねえ」

真面目に太息をついた。

「いえ、よござんすよ、手前の方ぢや何とも思つちやあやしませんの、却つてね蔭ながら貴君に同情してあげて、ほんとに嘸、嘸つてね、始終お噂をしてゐましたくらゐですよ」

面目悪相に俯いた源之助の様子を見て

「貴君、今晚はどなたをお招びになること、あの妓でせう、うの字が」

「さア」

ふつと首をあげて

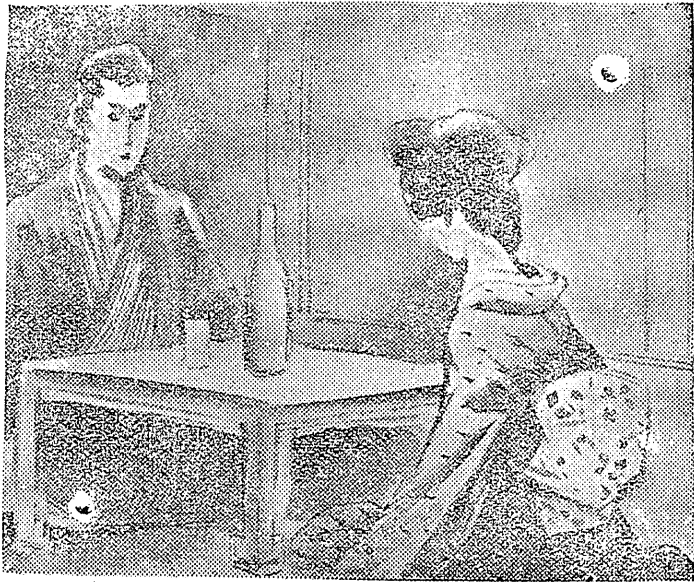
「来てくれるかね」

「来なくつてさ、貴君と聞いたら飛んで来ますさ、もしかお座敷だつたら無理にも貰ひをかけたせうよね」

「どうか宜しく、實は話があつて来たのだから」

「オーライ、何か今差上げ

「彼は女中の持つて来た酒をそのまゝに、別にサイドを取寄せて只一人冷たい味にひたりながら、夢見るやうな瞳をうつとりと電燈の光に投げてゐた、階下では頻りと電話の鈴の音が響



いた。

「姐さん、お座敷はどちら

程なく廊下先に嬌かしい聲が芽え渡つた、それが懐しい歌治であつた。

歌治が襖を細目にかけてちよつと覗いて見た、同時に源之助もひよいと首をも

ちつて視向へつた、僅に一寸ばかりの隙からこると笑つた微白い顔の一部分が浮いて見えた瞬間に彼は思はず胸が躍つて同じやうににっこりとした。襖をあけた歌治は男の磁氣に吸ひ込まれたやうに慌たしくひつと入つて来て食卓のむこふ側にべたりと坐つた、そしてやはりこやかに目で挨拶したぎり黙つて手巾で襟もとを煽いだ源之助は居すまいを直してわざとらしい大きな咳ばらひをしてから手持なげに敷島を抜いた、さしむかひ

「然うですつてね」 やつと解かゝつた話か他氣なくぼつと切れた、歌治はふと氣づいたやうに食卓の上を見通して 「おなた御酒は」 「廢めた、禁酒つちまつたよ」 「あら……ほんとに」 歌治は男の手もと覗いて 「サイドを召上つてらつしやるの、まア」 吃驚したやうに顔を見直した、これがつい此頃までは爛れるやうなアブサントヤウキスキーを被りつづけ平氣でゐた人だと思ふとその事が 「アハ、不思議だらう」 「まつたくよ」

(時) (計) と (眼) (鏡) 高橋時計店

精幸堂 號 平町才小路

耳鼻咽喉科専門

大和田醫院

平町南一七〇

内小兒科・花柳病科 藤沼醫院

平町五番 電話七〇五

入院應需

ラウチム温灸器

醫學博士 甘推獎

胃腸病 婦人病 其他の慢性諸症 肥り度い人の福音 熱くなく痕つかず無煙式 家庭治療器 誰にも出来る理想的

志賀齒科醫院

福島縣平町五ノ廿八

特卸治療部 福島縣平町白銀町九

約代理部 産婆 關口悦子

定價表 金拾圓 藥及特効サツ五週間分付 上製桐箱入一揃 (説明書呈)

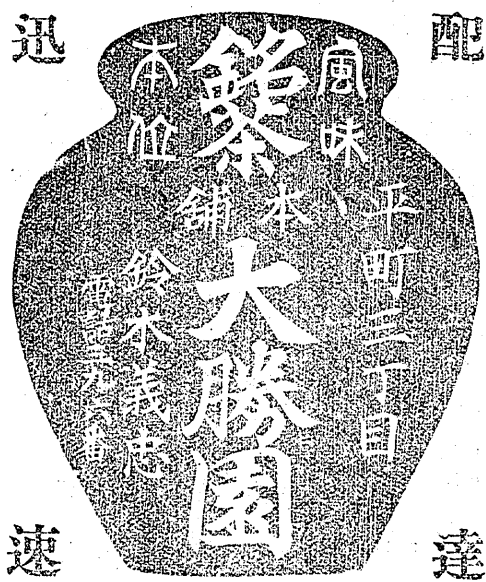
難波醫院

平町新川町 電話五〇二番

美味! 芳醇!

宗正らひた

山崎合名會社 電話一〇番



本場銘茶の優良品を一段と品質を向上致しまして 英斷的値下致しました、何卒御試飲下さいませ 煎茶四十目袋入 十錢より 五十錢まで 香りのよい家庭徳用別箱 ほうじ茶四十目袋入 十五錢 二十錢

吉田眼科病院 平町南一七〇 電話六八八